

時事新報は日本國中唯一の毎日刊行新聞紙あり

時事新報

第二千五百八十八號
明治廿一年九月廿五日 火曜日
舊戊子八月二十日 (巳亥)
日出午前六時三十分
日入午後五時三十分
月入午前八時三十分
月入午後九時三十分
郵政省特許第...
西曆一千八百八十八年

時事新報定價
時事新報ハ一年三百六十五日一日モ休刊セズ其代價通
送料廣告料ハ左ノ如シ
一、二、三、四、五、六、七、八、九、十、十一、十二、十三、十四、十五、十六、十七、十八、十九、二十、二十一、二十二、二十三、二十四、二十五、二十六、二十七、二十八、二十九、三十、三十一、三十二、三十三、三十四、三十五、三十六、三十七、三十八、三十九、四十、四十一、四十二、四十三、四十四、四十五、四十六、四十七、四十八、四十九、五十、五十一、五十二、五十三、五十四、五十五、五十六、五十七、五十八、五十九、六十、六十一、六十二、六十三、六十四、六十五、六十六、六十七、六十八、六十九、七十、七十一、七十二、七十三、七十四、七十五、七十六、七十七、七十八、七十九、八十、八十一、八十二、八十三、八十四、八十五、八十六、八十七、八十八、八十九、九十、九十一、九十二、九十三、九十四、九十五、九十六、九十七、九十八、九十九、一百、一百一、一百二、一百三、一百四、一百五、一百六、一百七、一百八、一百九、二百、二百一、二百二、二百三、二百四、二百五、二百六、二百七、二百八、二百九、三百、三百一、三百二、三百三、三百四、三百五、三百六、三百七、三百八、三百九、四百、四百一、四百二、四百三、四百四、四百五、四百六、四百七、四百八、四百九、五百、五百一、五百二、五百三、五百四、五百五、五百六、五百七、五百八、五百九、六百、六百一、六百二、六百三、六百四、六百五、六百六、六百七、六百八、六百九、七百、七百一、七百二、七百三、七百四、七百五、七百六、七百七、七百八、七百九、八百、八百一、八百二、八百三、八百四、八百五、八百六、八百七、八百八、八百九、九百、九百一、九百二、九百三、九百四、九百五、九百六、九百七、九百八、九百九、一千、一千一、一千二、一千三、一千四、一千五、一千六、一千七、一千八、一千九、二千、二千一、二千二、二千三、二千四、二千五、二千六、二千七、二千八、二千九、三千、三千一、三千二、三千三、三千四、三千五、三千六、三千七、三千八、三千九、四千、四千一、四千二、四千三、四千四、四千五、四千六、四千七、四千八、四千九、五千、五千一、五千二、五千三、五千四、五千五、五千六、五千七、五千八、五千九、六千、六千一、六千二、六千三、六千四、六千五、六千六、六千七、六千八、六千九、七千、七千一、七千二、七千三、七千四、七千五、七千六、七千七、七千八、七千九、八千、八千一、八千二、八千三、八千四、八千五、八千六、八千七、八千八、八千九、九千、九千一、九千二、九千三、九千四、九千五、九千六、九千七、九千八、九千九、一万、一万一、一万二、一万三、一万四、一万五、一万六、一万七、一万八、一万九、二万、二万一、二万二、二万三、二万四、二万五、二万六、二万七、二万八、二万九、三万、三万一、三万二、三万三、三万四、三万五、三万六、三万七、三万八、三万九、四万、四万一、四万二、四万三、四万四、四万五、四万六、四万七、四万八、四万九、五万、五万一、五万二、五万三、五万四、五万五、五万六、五万七、五万八、五万九、六万、六万一、六万二、六万三、六万四、六万五、六万六、六万七、六万八、六万九、七万、七万一、七万二、七万三、七万四、七万五、七万六、七万七、七万八、七万九、八万、八万一、八万二、八万三、八万四、八万五、八万六、八万七、八万八、八万九、九万、九万一、九万二、九万三、九万四、九万五、九万六、九万七、九万八、九万九、十万、十一万、十二万、十三万、十四万、十五万、十六万、十七万、十八万、十九万、二十万、二十一万、二十二万、二十三万、二十四万、二十五万、二十六万、二十七万、二十八万、二十九万、三十万、三十一万、三十二万、三十三万、三十四万、三十五万、三十六万、三十七万、三十八万、三十九万、四十万、四十一万、四十二万、四十三万、四十四万、四十五万、四十六万、四十七万、四十八万、四十九万、五十万、五十一万、五十二万、五十三万、五十四万、五十五万、五十六万、五十七万、五十八万、五十九万、六十万、六十一万、六十二万、六十三万、六十四万、六十五万、六十六万、六十七万、六十八万、六十九万、七十万、七十一万、七十二万、七十三万、七十四万、七十五万、七十六万、七十七万、七十八万、七十九万、八十万、八十一万、八十二万、八十三万、八十四万、八十五万、八十六万、八十七万、八十八万、八十九万、九十万、九十一万、九十二万、九十三万、九十四万、九十五万、九十六万、九十七万、九十八万、九十九万、一百万

時事新報

外國人民は日本人の親友なり

條約改正中止の原因に就ては其責全く我日本に在り云ふ者あり事の外形のみを問見して正面より論ずれば斯く云はれても其返答も困るの事情なきあらざるも我輩の見る所を以てすれば此中止や中止の日に中止したるもあらず其原因は數月數年の前より積りて始めて中止の日に外形に現はれたるまでとして有力なる原因は久しく中伏して消滅したるまでとなきが故中止の其日に在て考ふれば多年の談判は到底成る可らざる歎を吐きたり云ふも不可なきが如し此邊より公平に觀察を下しさらば諸外國の政府も或は心に思當るまじある可し然りと雖も多言の世の中には唯その外面の形を見て内實の情を問はざるものもあらず我輩は今更ふれ又向て辨論するを好まず他の言ふが如く一任して獨り自り自國の本分を守り以て世界の定論を待つのみ即ち改正の談判に付き満足を得るまでは現行の條約確守と覺悟を定めざるものとして過日來の時事新報紙上にも聊々意見を陳べしれども尙ほ念の爲めに一言を要する其次第は他も非ず本來我輩が條約確守と立論したれども其目的は今の在日本の外國人に向て毫も敵意を懷く者に非ず多數の居留人の中には随分面白からぬ人物もある可し時として不正不品行の者もあらざるも是れは雙方同様のまじにて我國人の中にも言語道斷なる人物は甚だ少なからず今の人間世界に免かる可らざる事相として之を差置き全體を平均したる所にて日本に在る外國人は決して日本に對して惡意を懷く者もあらず否な人情の厚きものにして隨以來漸く我國の事情を明にして彼の學者上流の士人は我道徳の薄からざるを知り、我智巧の淺からざるを悟り、我風俗の淳さを欣び、我技術の高尙なるを驚き、日本を稱して東洋絶倫の一帝國と認め之を筆にし之を口にして西洋の社會に報道して彼の社會に我重きを爲し給ふの事實は我輩の常に忘れざる所なり又我内地に在て其厚情の事實に現はれたるものを舉れば其地方に如何なる不幸の者ありて偶々通行外國人の目に觸れ金財を奪はれて本人は感涙をひそめたりなど云々之類は毎度我輩の耳にする所として又或は内地に水火の災等あれば其罹災人の爲め外國人の義捐は毎

官報

鐵道局年報 去る七月十一日本鐵道局年報車輛現
數表申機關車の部神戸大津間三六は二〇、同合計七九
五九三、同合計二五九、同合計の部神戸大津間六一
九二、同合計一四八、同合計の部神戸大津間六一
九二、又同月十四日の紙上同年報日本鐵道會社建設費
金内譯表中波戸費の部合計三、〇三、〇三、〇三、〇三、
計三、〇三、〇三、〇三、〇三、〇三、〇三、〇三、〇三、
正しなり

○文部省告示第十號
從來死體解剖ノ儀帝國大學醫科大學ニ願出ル者アルト
キハ該學ニ於テ開屆來候處自今文部省直轄高等中學校
醫學部ニ於テモ同様可開屆ニ付右盛ノ者ハ該醫學部ニ
願出ヘシ
明治廿一年九月廿四日 内務大臣伯耆山縣有朋
文部大臣子爵森 有禮
○辭令
内閣書記局長 曾爾 荒助
文官普通試驗委員長 命ス
内閣總理大臣秘書官 牧野 伸顯
文官普通試驗委員 命ス(以上九月廿一日内閣)
明治二十一年第二回東京醫術開業試驗主事 命ス
明治二十一年第二回東京醫術開業試驗主事 命ス
明治二十一年第二回仙臺醫術開業試驗主事 命ス
明治二十一年第二回京師金澤長崎醫術開業試驗主事
命ス
明治二十一年第二回京師金澤長崎醫術開業試驗主事
命ス
○警備
警備總監所於テ刑法治罪法講義囑託中自今爲手當一箇
年金五百圓給與(以上九月廿一日内務省)
○地方部内巡迴 命ス(九月廿一日文部省)
高等師範學校教諭 椿 嘉一郎
第一高等中學校教諭 赤生 好義
○警備
警備總監所於テ刑法治罪法講義囑託中自今爲手當一箇
年金五百圓給與(以上九月廿一日内務省)
○警備
警備總監所於テ刑法治罪法講義囑託中自今爲手當一箇
年金五百圓給與(以上九月廿一日内務省)

○收稅事務
收稅事務
收稅事務
收稅事務